

令和5年度 最上学園虐待防止委員会 会議録

日時：令和6年3月9日 13:30~15:50

場所：最上学園 会議室

1 開会

令和2年より当委員会を発足して3回の会議を経て、新たに入ったスタッフの意見も取り入れ形骸化を防ぎ、日々の支援の向上、そして二度と虐待を起こさないように工夫をしている。成果として、以降に虐待事案は発生していない。1年間の取り組みについてご意見をいただき、今後の取り組みに活かしたい。

2 資料に沿って説明

3 委員評価・オブザーバー感想

・1年に1回は開催されている非常に重要な会。R5年度の実績等の説明を受け、不適切な支援が発生してから3年がたつが、不快に感じた支援はなかった。園長先生をはじめ、職員が尽力している結果であり感謝している。児童への支援に細心の注意をしていることを理解できた。また、職員間のやり取りなどの面も重要。それらが土台となって適切な支援となっていくので、大切にしてほしい。お互いに注意も含めた声を掛け合える関係を作っていくのは大変なことではあるが、非常に重要なので努力をお願いしたい。些細なことを記録し、二度と起こさないようにしていることは大変だと思うが、とても良い取り組みだと思う。大人では想像のつかない行動を起こす子供が多くいる中での手厚い支援に感謝するとともに、今後もよろしくをお願いしたい。

・子供への愛情を資料から感じた。

・資料から熱意を感じた。制度上、今後はこれまで以上に身体拘束や虐待の予防が重要になってきている。虐待を恐れて、支援に消極的になってしまうという話も出ていたが、制度の本質は人権擁護などにある。今のような支援を行いながら、成長期の大人に移り行く大切な時期を過ごす児童の自己肯定感の成長を促す今のような取り組みを継続して行って欲しい。また、日々の支援の振り返りも大切に、初心を忘れずに支援を常に向上させていくという志をもって業務に励んで行って欲しい。

・子供の人権や尊厳を守るために支援が行われていることを理解した。虐待防止がうまくいく仕組み作りが重要。ヒヤリハットやインシデントの共有や改善に向けた動きを考え、実践していく仕組みが有効に働いている。職場間の人間関係も大切であるが、子供のために他の職員に手伝ってもらえるなどのいろんなやり方があるはずなので、頑張ってもらいたい。

・熱意と使命感をもって支援を行っているのを感じた。倫理アンケートやセルフチェックが結果を検証して、しっかり支援にフィードバックされていて良いと思った。形骸化せずに項目を変えるなどしているところが良かった。

・虐待防止のための仕組み作りが出来ているなと感じた。虐待防止のため外部の方から、指導を直接受けられるのは恵まれていると感じた。風通しの良い職場を作るためには職員間の人間関係は切り離せない課題でもあるので、情報の共有と引き続きの取り組みを大切にしていって欲しい。

・今年度から最上学園と同様の取り組みをしているが、参考にしたいと思う。

4 閉会

児童の成長のために、職場風土をよりよくしていきながら、職員の知識を集めて良い支援につなげていけるようにしたい。